

迷宮の月

著者名：安部龍太郎
出版者：新潮社

日本の安定のためにはこの外交交渉が不可欠—栗田真人は重要な機密を胸に波濤を超え長安を目指す。唐を舞台とする歴史情報小説。

茶聖 Sen no Rikyu

著者名：伊東潤
出版者：幻冬舎

真の芸術家か、戦国最大のフィクサーか。「茶の湯」という一大文化を完成させ、天下人・豊臣秀吉の側近に仕えた千利休。その謎めいた心根と切腹の真相に迫る歴史大河ロマン。

70歳のたしなみ

著者名：坂東眞理子
出版者：小学館

人生で最も幸福なのはいつ頃か—と問われたら、現代では70代ではなかろうか。その貴重な黄金時代を、人生70年時代の先入観のまま晩年として生きるのはあまりにももったいない。人生100年時代をポジティブに生きるヒントは「たしなみ」にある。

死という最後の未来

著者名：石原慎太郎 曾野綾子
出版者：幻冬舎

キリストの信仰を生きる曾野綾子。法華経を哲学とする石原慎太郎。対極の死生観を持つふたりが「死」について赤裸々に語る。死に向き合うことで見える、人が生きる意味。

あたしたち、海へ

著者名：井上荒野
出版者：新潮社

有夢と瑤子と海は幼馴染みの仲よし三人組。中学の合格祝いを買ってもらった自転車もお揃い、大好きなミュージシャンも同じリンド・リンディ。川沿いの街ですっと同じ風景を見ていくはずだった。けどどー。傷ついて、裏切って、追い詰められて…。大人には見えない、少女たちの孤独な魂にそっと寄り添う物語。

リクエスト
ありがとうございます

輪舞曲（ロンド）

著者名：朝井まかて
出版者：新潮社

舞台上に立ちたい一心で子を捨てて上京し、キャリアの絶頂で没した伝説の女優・伊沢蘭奢。野心を貫いた華の生涯を男達の眼から描き出す。

あしたの華姫

著者名：畠中恵
出版者：KADOKAWA

百万の人々が暮らす江戸でも随一の盛り場、両国。その地回りの親分山越に息子がいたと発覚し、にわかには跡目争いが持ち上がった。娘のお夏も、頭の座を狙う陰謀に巻き込まれ…。お夏を守るよう命じられたハタシの芸人月草が、“まこと”を見通す姫様人形お華と、西へ東へ駆け回る！

人生ムダなことはひとつもなかった 私の履歴書

著者名：橋田壽賀子
出版者：大和書房

なにが幸運かはわからない。94歳、現役脚本家の山あり谷あり人生！日本経済新聞・好評連載「私の履歴書」が1冊に。50年前の結婚挨拶状も初公開！

もしも一年後、この世にいないとしたら。

著者名：清水研
出版者：文響社

人生の締切を意識すると明日が変わる3500人以上のがん患者と対話してきた精神科医が伝える死ぬときに後悔しない生き方

少年と犬

著者名：馳星周
出版者：文藝春秋

家族のために犯罪に手を染めた男。拾った犬は男の守り神になった一男と犬。仲間割れを起こした窃盗団の男は、守り神の犬を連れて故国を目指す一泥棒と犬。壊れかけた夫婦は、その犬をそれぞれ別の名前で呼んでいた一夫婦と犬。体を売って男に貢ぐ女。どん底の人生で女に温もりを与えたのは犬だった一娼婦と犬。老獮師の死期を知っていたかのように、その犬はやってきた一老人と犬。震災のショックで心を閉ざした少年は、その犬を見て微笑んだ一少年と犬。犬を愛する人に贈る感涙作。

リクエスト
ありがとうございます

首里の馬

著者名：高山羽根子
出版者：新潮社

この島のできる限りすべての情報を守りたい。いつか全世界の真実と接続するように。世界が変貌し続ける今、しずかな祈りが胸にせまる。第163回芥川賞受賞作。

一人称単数

著者名：村上春樹
出版者：文藝春秋

短篇小説は、ひとつの世界のたくさんの切り口だ。6年ぶりに放たれる、8作からなる短篇小説集。

夢をかなえるゾウ 4

著者名：水野敬也
出版者：文響社

自分、今の生き方やったら死ぬときめっちゃ後悔するで。

りんごかもしれない

著者名：ヨシタケシンスケ
出版者：プロンズ新社

ある日キッチンにおかれてるリンゴをみつけた一人の少年が「もしかしてリンゴじゃないかもしれない」という想いに駆られ、いろいろとそのものが何であるのかを想像してゆく。その想像力は自由で、まったくしづりがなく、少年が成長してきたわずかな年数の経験、得てきた知識が総動員されます。ほんとうに「リンゴじゃないかもしれない」と読むものをひきこみます。同じ立場の子どもならなおのことでしょう。あたりまえだけど子どもってすごいかもしれない。

破局

著者名：遠野遥
出版者：河出書房新社

私を阻むものは、私自身にほかならない。ラグビー、筋トレ、恋とセックス一ふたりの女を行き来するいびつなキャンパスライフ。28歳の鬼才が放つ、新時代の虚無。第163回芥川賞受賞。

四畳半タイムマシンブルース

著者名：上田誠 森見登美
出版者：KADOKAWA

炎熱地獄と化した真夏の京都で、学生アパートに唯一のエアコンが動かなくなった。妖怪のごとき悪友・小津が昨夜リモコンを水没させたのだ。残りの夏をどうやって過ごせというのか？「私」がひそかに想いを寄せるクールビューティ・明石さんと対策を協議しているとき、なんともモッサリした風貌の男子学生が現れた。なんと彼は25年後の未来からタイムマシンに乗ってやってきたという。そのとき「私」に天才的なひらめきが訪れた。このタイムマシンで昨日に戻って、壊れる前のリモコンを持ってくればいい！小津たちが昨日の世界を勝手気ままに改変するのを目の当たりにした「私」は、世界消滅の危機を予感する。『四畳半神話大系』と『サマータイムマシン・ブルース』が悪魔合体？小説家と劇作家の熱いコラボレーションが実現！

欲が出ました

著者名：ヨシタケシンスケ
出版者：新潮社

大人も子どもも、欲の出やすいすべての人へ—絵本作家ヨシタケシンスケの、「深かったり浅かったりする」スケッチ解説エッセイ。欲をまとめて、よくできました！しいていうなら、くらしの知恵に。

ころべばいいのに

著者名：ヨシタケシンスケ
出版者：プロンズ新社

きれいなひとつ、いるよねー。発想えほんシリーズ第4弾。ヨシタケシンスケ流ころの処方箋。